澄み渡る空と横田基地の航空機

Clear skies at Yokota

February 5, 2016

Original text by Osakabe Yasuo
374th Airlift Wing Public Affairs

低コスト低高度パラシュート投下訓練を行う、第36空輸中隊所属のC－130ハーキュリーズ。低コスト低高度パラシュート投下は、パラシュートを使い捨てし、回収しない特別な物資輸送方法。同中隊は、2015年の「クリスマス・ドロップ作戦」でミクロネシア連邦の島々に18トンの物資を届けた。

離陸態勢をとる第459空輸中隊所属のC－12ヒューロン。C－12Hは、インド・アジア太平洋地域における前方展開戦力を維持し、高官の移動のほか、優先度の高い人と物資の輸送任務に使われる。

横田基地上空を飛行する第459空輸中隊所属のUH－1Nイロコイ。UH－1Nは、主に横田基地では人道支援、高官の移動、合同軍事訓練、捜索救助活動に使用されている。